


	1年生	2年生	3年生
実 態	<p>①授業への取り組みはよく、集中して学習している。話の要旨を聞きとったり、文章にまとめたりする力がやや不足していると感じる。授業道具や提出物等の忘れ物がやや多く集中力が無い。</p> <p>②家庭学習ノートにきちんと取り組んでいるが、学習内容が常に同じ生徒がおり、復習の仕方やテスト勉強の仕方をさらに丁寧に指導する必要性を感じる。</p>	<p>①授業規律がほぼ定着しており、集中して学習に取り組んでいる。昨年度に比べ、授業道具や提出物の忘れ物は減ってきている。</p> <p>②家庭学習が不足している生徒が多く、問題にじっくり取り組むことが苦手である。そのため、自分の考えを文章にまとめたり、資料を読み解いて答えたりする活用力が不足している。</p>	<p>①授業規律が定着しており、授業に集中して取り組んでいる。</p> <p>②基本的な問題はできるが、文章やグラフを読み取って答える問題が苦手である。</p> <p>③すぐに結果に結びつく学習には意欲を見せるが、こつこつと積み上げる粘り強さにやや欠ける。</p>
方 策	<p>①授業での話を聞いたり、文章にまとめたりする授業を推進する。</p> <p>②学力の基礎となる集中力と読む力と書く力をつけるため、朝学習に読書と文章視写の取り組みを充実する。</p> <p>③11月頃からは、朝学習の時間を使って5教科の小テストを実施し、問題に慣れさせ基礎・基本の定着を図っていく。</p> <p>④「チャレンジノート」という家庭学習ノートを用いて家庭での自主学習に取り組みせ、毎日担任が点検し、必要に応じて個別指導を行う。</p> <p>⑤夏季休業中に1学期の復習教材を使って家庭学習に取り組みさせる。登校日に点検し、夏休み明けの課題テストで定着度を確認する。</p>	<p>①授業での話を聞いたり、文章にまとめたりする授業を推進する。</p> <p>②学力の基礎となる集中力と読む力と書く力をつけるため、朝学習に「読書」や「教科プリント」の取組を充実する。</p> <p>③「チャレンジノート」を用いて家庭での自主学習に取り組みさせ、毎日担任が点検し、必要に応じて個別指導を行う。</p> <p>④夏季休業中に1学期の復習教材を購入し、家庭学習に取り組みさせる。登校日に点検し、夏休み明けの課題診断テストで定着度を確認する。</p>	<p>①生徒指導の3機能を意識した授業を取り入れ、ペア学習やグループ学習を活用し、学び合い学習を進める。</p> <p>②授業や家庭学習の課題を用いて、記述問題や発展問題に取り組みさせることにより応用力をつける。</p> <p>③家庭学習では「新研究」を採用し、毎日1教科ずつ計画的に取り組みさせている。</p> <p>④夏季休業中に「新研究」の2年生までの範囲の2回目の復習に取り組みさせるとともに、3年生の1学期の復習に取り組みさせ、基礎・基本の定着を図る。</p>
学 力 補 充	<p>①夏季休業中に4日間の学習相談日を設けて、個別指導によってつまづきを解消し、苦手教科の克服をめざす。</p> <p>②各教科で、課題の提出や学習プリントの状況から、遅れが見られる生徒に、放課後の学力補充学習を行っていく。</p>	<p>①夏季休業中に3日間の学習相談日を設定し、必要に応じて個別指導し、苦手教科の克服等学力補充をめざす。</p> <p>②各教科で、課題や学習プリントの提出状況から、遅れが見られる生徒に、放課後の学力補充学習等を実施する。</p>	<p>①夏季休業中及びテスト前に学習相談日を設定し、学力の補充を行う。</p> <p>②朝学習の時間に各自で選択した習熟度に応じた「スタディ」に取り組みさせるとともに、毎日提出される自学ノートに対する個別支援を行う。</p>



確かな学力の向上